

郷里が近くなって思うこと

臨床技術学科 小澤口 治樹（旧金井町出身）

私は佐渡高校を 1968 年に卒業してから、大学時代を仙台で送り、その後東京、水戸、横浜と太平洋側で会社人生活をしていました。昨年 4 月本学に赴任する直前まで、最後は福島県双葉郡楢葉町にあった電子材料製造工場で働いておりました。

工場の住所を見てお気付きの人もいると思いますが、2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は、工場にてまともに体験しました。揺れや津波被害よりも大変だったのは原発事故被害でした。福島第一原発から 20 km ほどのところに工場がありましたので、原発が水素爆発を起こすとともに立入り禁止となり、会社も社員家族も住み家を捨て避難せざるを得なくなりました。今日現在も後輩に聞きますと、避難指示は解除となったものの、なかなか帰れる状況にならず、復興はまだ遠いようです。

そんな状況の中でも、何とか以前住んでいたところに戻りたいという社員たちの強い思いを見て、何とかそうさせてやりたいと会社を離れる直前まで努力してきました。そんな行動の中で、自分も将来は生まれ故郷の佐渡に戻りたい、またそうできなくても郷里近くに住んで、新潟や佐渡のために、何かしたいと思うようになりました。今こうして新潟の地で若い人たちが学ぶ手助けをする機会を得られたのは、本当に自分の思いがかなったと思っています。

話はガラリと変わります。私は高校時代、新聞部に 2 年間籍を置き、佐高新聞（獅子ヶ城新聞と言っていたかも？）のコラム「とんちぼ」欄を書く担当をしていました。皆さん、佐渡の出身なら「とんちぼ」（「むじな」とも島の人たちは言います）はよくご存知ですね。狸のことです。今佐渡島にはものすごい数の狸が生息していて、私の実家の近くでも夜よく見かけます。しかし私が高校生の頃はめったにお目にかかれないう動物でした。相川の二ツ岩というところに住んでいる「団三郎」という狸が佐渡の狸の頭で、小木地方まで通ずるトンネルを行き来し出没し、悪いことをする人間を懲らしめるのだと、年寄りに教えられたものでした。

学生時代を送った仙台といえば武将伊達政宗が有名ですが、彼は古狸と呼ばれた徳川家康と化かし合いをして東北地方が徳川家の支配となることから守った英雄とされています。また、私の家族は東京三鷹近辺に住んでいますが、近くには宮崎駿アニメ「平成狸合戦ポンポコ」の舞台である多摩丘陵があります。このようなことで、私は何となく昔から狸と縁が深い関係があったようです。

狸は一見ずる賢く悪さをする動物と思いがちですが、一族を大事にして団結して行動する動物だといわれています。いつか皆さんも郷里佐渡の「とんちぼ」になって、集団をまとめ統率してお山の大将になれるよう頑張ってください。また新潟県人会佐渡支部も、「とんちぼ」になって、結束力の強い会としていきましょう。

今回は、臨床技術学科の小澤口先生から玉稿をいただきました。小澤口先生は昨年度、本学に着任されたそうですが、私は先生が佐渡の、しかも中学校の先輩（金井中学校）であることを、これまで知りませんでした。こんな出会いがあるところが、県人会・佐渡支部の良さだと思います。

県人会・佐渡第1回全員集会 “ホッと一息、佐渡の会”



今年度の新潟県人会・佐渡支部の第1回全員集会兼1年生歓迎会を5月19日に行いました。今年度の佐渡支部の会員数は48名で、当日は22名（他県出身者3名含む）の参加がありました。また山本学長先生、小澤口先生、それに佐渡を応援して下さる西尾先生からもご参加いただきました。

同じ佐渡出身と言っても、学年が違ったり、出身校が違ったりすると、よく知らない人が多いようです。大学に入ると学科の仲間や部活、あるいはサークルの仲間、さらにはアルバイトの仲間などたくさんの出会いがあり仲間が増えてきます。是非仲間を増やしてってください。そして忘れてはならないのは、故郷の友達です。今回の集まりは【点】としての出会いです。それが佐渡支部の活動を通して【線】となり、そして佐渡の仲間としての【絆】となることを願っています。皆さんの積極的な参加を期待しています。

（写真撮影の時間が遅く、既に授業に行ってしまった人がいて、参加者全員の写真でなくすみません。）